

令和元年度

# 事業報告書

自 平成31年4月1日

至 令和2年3月31日

公益財団法人南丹市情報センター

## 令和元年度 事業報告

地域情報通信事業においては、南丹市より指定管理者として、3年間の指定を受けた1年目でした。少子高齢化や人口減少、民間事業者の参入などの影響で、CATV及びインターネットサービスの加入者が減少傾向にある中、加入者の満足度を高められる事業を展開しました。地域メディアの有意性を訴えながら、CATV・インターネットの新規加入拡大事業を実施し、一定の効果を上げることができました。また、加入者のニーズにあったサポートサービス、地域に密着した取材・放送に取り組み、市民の活動取材した番組が「京都広報賞 知事賞」を受賞、全国大会でも入選しました。さらに、地域の文化遺産等を地域振興や観光・産業振興、地域社会の発展に活かすことを目的に、各種団体による実行委員会が初めて取り組まれた『森の京都「なんたん」エコミュージアム』推進事業に協力団体として関わり、運営支援や映像制作業務を受託、地域振興に貢献しました。

国際交流会館においては、指定3年間の2年目を迎え、市民ニーズにあったサービスを安定、継続して提供しました。園部公民館改修に伴う、生涯学習機能としての役割を担うとともに、貸部屋稼働率を上げるための料金改定、園部公民館入居団体の受け入れ、会館を有効活用した地域振興活動に協力しました。

今後も将来に亘り、市民ニーズにあったサービスを安定、継続して提供できるよう努めて参ります。

### 1. 加入管理業務

#### (1) 加入管理

【CATV基本サービス（令和2年3月末）】

◇加入者数 13,916戸

（平成31年3月末 13,910戸／増減数 6戸増）

◇課金対象者数 11,161戸

(平成31年3月末 11,178戸/増減数 17戸減)

【インターネットサービス(令和2年3月末)】

◇加入者数 5,080戸

(平成31年3月末 5,052戸/増減数 28戸増)

◇課金対象者数 3,221戸

(平成31年3月末 3,220戸/増減数 1戸増)

※加入者数の推移グラフは別紙①の通り。

CATV課金対象者数については、園部町で30戸の増加、その他の地域では減少となりました。美山町は32戸の減少となりましたが、減少理由は、転居や空き家などが50%を占めています。

インターネット課金対象者数については、日吉町で10戸、美山町で7戸増加しましたが、園部町で10戸、八木町で6戸の減少となりました。課金対象者数の減少理由は、他社乗り換えが30%を占めていますが、キャンペーン実施の効果もあり、加入件数が休止(解約)件数を上回り、1戸増加となりました。

## (2) 加入促進

南丹市の業務委託を受け、今回初めて「南丹市CATV新規加入拡大事業」を実施しました。10月から12月の受付期間にCATVに新規加入された対象者に対し、初期費用の50%を商品券で還元しました。

また、昨年と同様に当法人の事業として「南丹市インターネット新規加入拡大事業」をCATVと同時期に実施し、初期費用の65%を商品券で還元しました。広報活動は、チラシの全戸配布に加え、特にCATVについては、加入率の低い八木町の一部地域を訪問し、チラシの配布や事業説明を行いました。また、QRコードも活用しCATVの魅力を動画配信しました。

CATVの事業期間での獲得件数は41件で、昨年度の同時期と比べて2倍以上の新規加入が

ありました。また、インターネットは44件の新規加入がありました。

### (3) パソコン講座

初心者を対象としたパソコン講座を、さくらPCクラブとの共催で開催しました。

- ・エクセルの基礎から「会計報告書」作成等の講座（1月） 10名受講

### (4) 利用料金の滞納徴収

10月から徴収業務の見直しを行いました。現年度滞納者を対象に毎月「未納のお知らせ」を通知し、入金または連絡がない場合はサービスを停止しました。全市でV-ONUの遠隔制御が可能になったことから、停止を伴う徴収業務の強化を図りました。

◇CATV利用料	現年度収納率	98.35%	(204,348,074円)
	過年度滞納分収納率	48.71%	(3,234,281円)
◇インターネット利用料	現年度収納率	99.71%	(120,102,270円)
	過年度滞納分収納率	84.09%	(326,800円)

## 2. 施設管理業務

### (1) テレビ・ラジオ再放送

万全を期した放送受送信設備の保守管理を行い、安定したテレビ・ラジオの再放送を提供しました。

- ・自主放送1波

なんたんテレビ

- ・地上テレビ放送 再放送 8波

NHK総合（京都放送局）・NHK教育・毎日放送・KBS京都・朝日放送・  
テレビ大阪・関西テレビ・読売テレビ

- ・BS放送 再放送 29波

- ・BS（4K）放送 再放送 6波（うち1波は令和元年9月～）

- ・CS放送 再放送 54波

- ・FMラジオ放送再放送 4波

FM802・NHKFM・FM大阪・FM京都（αステーション）

- ・データ放送サービス

地域気象情報、台風等の災害時の緊急情報、地域情報、生活情報、イベント情報、学校からのお知らせ、なんたんテレビ文字ニュース、京都新聞文字ニュースほか

## （２）インターネットサービス

光ファイバー方式による高速インターネット接続サービス（通信速度100Mbps）通信機器について、常にSNMP監視、受信点信号レベルの確認を行い、安定運用に努めました。

災害や大きな設備トラブルの発生もなく安定運用が出来ましたが、令和元年12月17日、南丹市日吉町保野田地区で外部要因（火災）による障害が発生しました。光幹線が焼失し、放送・通信断が発生しましたが、緊急工事を行い早急に復旧できました。

## （３）八木・日吉・美山地区の通信設備の運用

平成30年度に更新した八木・日吉・美山地区のインターネット通信設備は、平成26年度に整備した園部地区の通信設備と互換があり、通信設備の統一運用が可能になりました。管理方法を確立し、トラブルなく安定運用が行えました。

## （４）八木・日吉・美山地区の放送設備の更新

通信設備更新については平成30年度に完了しましたが、放送設備は既設のままで、また機器冗長も行えていない為、市担当課と更新に向け協議を行いました。令和2年度の更新計画は見送りとなりましたが、引き続き市と協議を行います。

## （５）将来の放送通信サービスに対する情報収集

BS4K放送が開始され、将来的には地上波放送も4Kに移行することが検討されています。

また、NHKがテレビ放送のネット同時配信を開始するなど、放送・通信サービス環境は年々大きく変化しています。特に令和2年度から開始の5G（ローカル5G）の動向に注目し、光ケーブル網の活用等、今後の状況に対応できるようセミナー参加や資格取得に努めました。

また、利用者へのアドバイスやサポートに対応するため、最新の端末機器やサービスについての知識、技術を身につける必要があり、CATV技術者講習の受講やケーブルテクノフェアセミナーへの参加等、情報収集、調査、実践対応に取り組みました。

- ・第2級CATV技術者資格取得
- ・ケーブルテレビ技術セミナー参加
- ・ケーブルテクノフェア2020セミナー受講
- ・障害対策改修は監視から予兆改修(予防保全)へ
- ・宅内Wi-Fiルータのリモート管理を行うためのCWMP（TR-069）の活用
- ・コミチャンを新たなビジネスプラットフォームに
- ・富士通グループの5Gに対する取り組み
- ・「著作権ならびにコンプライアンス関連」全国説明会参加

#### （6）CATV、インターネット利用者へのサポートサービスの向上

地域密着型サービスの利点を活かして、放送・通信への理解に乏しい方や操作が苦手な方への電話による親身なアドバイスや訪問サポートを実践しました。また、パソコン等の持ち込みにて使用方法やソフトのインストール等、困っている方へのサポートを行いました。

#### （7）イントラ回線（教育・行政・河川カメラ）、携帯基地局の整備と管理

南丹市の行政運用やサービスで使用しているイントラ回線（教育・行政・河川カメラ）の幹線管理を行い、市各課からの要望に対して協力や提案等を行いました。また、市発注の整備工事についても、担当課や業者への提案、助言、指導や工事の協力を行いました。

市で締結した携帯基地局工事について、工事業者や携帯会社と協議し、設計や管理、指導等を行いました。

- ・河川カメラ整備工事（船阪・船岡）
- ・公民館改修に伴う回線撤去・再構築提案・助言
- ・日吉胡麻集落センター情報通信設備新設工事
- ・八木南地区自治振興会館情報通信設備新設工事
- ・南丹市八木支所情報通信設備新設工事

#### 携帯基地局（KDDI）

- ・日吉町内4局（四ツ谷中・四ツ谷寺坂・佐々江・佐々江（親局））
- ・美山町内5局（三埜・大野・知見・知見大出合・美山中）

### （8）工事件数（平成31年4月～令和2年3月）

◇支障移転等による幹線工事数 147件（前年同期比 48件減）

◇新規加入・解約・休止・復旧・移設等工事数 693件（前年同期比 30件減）

## 3. 自主放送番組制作業務

### （1）自主放送・企画番組制作

ニュースや企画番組、学校番組等の制作において、地域や学校、集落支援員、地域おこし協力隊、南丹市、京都府など各組織と連携して、情報収集及び取材にあたり、人と人との絆を結ぶ、また地域の活性化につながる番組作りに取り組みました。

週2回のニュース番組では、地域や学校、団体の取り組みを内容の掘り下げや丁寧な取材、インタビューなどを盛り込んだ特集で紹介し、まちおこしの相乗効果を生みました。

昨年4月に放送した、もぎたてニュースの特集「地域の魅力を写真におさめる」が令和元年度京都広報賞映像の部で知事賞を受賞、また全国大会においても入選し、普段の制作業務で取り組んだ作品が評価されたことは、制作職員の励みとなりました。

放送大学京都学習センターと連携した地域貢献プロジェクト「森の京都カレッジ」講演会を開催し、番組として収録・放送したほか、文化庁補助事業「森の京都『なんたん』エコミュージアム推進事業」において、文化遺産等の記録映像制作業務を受託し、地域振興に貢献し

ました。

## (2) 生中継放送

生中継については、南丹市議会定例会本会議や中学校の南船野球大会、園部小学校鼓笛パレード、南丹市成人式のほか、法人主催のサッカー大会など、市民の関心ある出来事を現場から中継し、臨場感ある放送を行い、家族みんなで楽しめる番組を制作しました。

## (3) 防災への取り組み、災害発生時の広報

災害時における事業課職員の対応として、9月の南丹市防災訓練に併せ、伝達訓練や設備点検訓練、放送訓練を行いました。また、災害発生時の行動や防災について、広報番組を制作して放送しました。

災害発生時には、南丹市対策本部会議に出席し情報収集に努め、放送したほか、南丹市の河川監視カメラの映像を、番組を変更して放送しました。(河川監視カメラ映像は、防災チャンネルとして、毎日定時放送)

### □台風10号対策(令和元年8月15日～16日)

- ・南丹市災害警戒本部会議へ出席し、水位状況や被害状況を把握し、避難所開設、交通情報を伝えました。

### □台風19号対策(令和元年10月12日)

- ・南丹市災害対策本部会議へ出席し、水位状況や被害状況を把握し、避難所開設、避難勧告、指示、交通情報、危険箇所情報、イベント中止の案内、節水・ごみ処理についてのお願など、多くの情報を、L字やLアラート(災害情報共有システム)、河川カメラ放送、文字放送、などで伝えました。

### □新型コロナウイルス対策

- ・文字放送



- ↳ 南丹保健所からの内容を掲載

- ↳ 市内行事の中止内容を掲載

- ・動画放送

- ↳ 南丹市保健医療課より内閣府制作の「手の洗い方」を放送

- ↳ もぎたてニュースのコメントで手洗い、うがい、咳エチケットなどを告知

#### (4) 教育機関との連携

小学校、中学校、高校、大学、幼稚園、保育所等との連携を深めて情報収集を行い、各校の特色ある取り組みを多数紹介しました。学校からの提供による番組枠を充実させ、より見やすくなるように編成しました。

児童、生徒の情報教育に関する施設見学や勤労体験学習等の受け入れを行いました。

□施設見学 園部小学校2年生、八木西小学校2年生、殿田小学校5年生

□勤労体験 園部中学校2年生、八木中学校2年生、園部高校附属中学校2年生 各1名

□ゲストティーチャー派遣 園部第二小学校5年生、八木西小学校2年生

□インターンシップ研修生 受け入れ 佛教大学、京都先端科学大学 各1名

#### (5) 自主放送番組のアーカイブデータ化及びシステム導入

自主放送番組の過去の映像は南丹市の財産であり、日々の番組制作でも過去の映像を番組編集に利用する機会が増えています。これまで行ってきた既存メディア（ビデオテープ）での保管では保存番組の劣化が見られることから、永年保存の取り組みとして、データ化及びシステム導入、保存番組のデータベースの整理を行いました。平成31年度より運用を開始し、地域の伝統行事や卒業、成人を迎える子どもたちの入学式の映像を再放送するなど、アーカイブ放送に活用しました。

### 4. 南丹市国際交流会館管理運営業務

#### (1) 国際交流会館の利用状況

【利用状況（平成31年4月～令和2年3月）】

◇利用回数 2,971回（前年度 2,056回／ 915回増）

◇利用人数 41,940人（前年度 37,782人／4,158人増）

南丹工芸文化祭、京都丹波美術工芸教育展をはじめ、京都府や南丹市などの行政機関や各種団体への開催協力を行いました。

京都府南丹保健所の実施する乳がん検診の受診による早期発見、治療の啓発（ピンクリボン活動）をはじめ、当館のライトアップによる3件の啓発活動に協力しました。

令和2年2月下旬から新型コロナウイルス感染拡大防止を理由とした予約取消に対応するため、キャンセル料を免除するなど、利用者に配慮した対応を行いました。また、建物出入口へのアルコール消毒液の設置や来館者が主に手を触れる箇所へのアルコール消毒や部屋の換気を行うなど、感染拡大防止に努めました。

## （2） 利用促進の取り組み

国際交流会館の利用しやすい環境づくりや新規利用者の増加を目的として、平成29年度から利用頻度の少ない貸し部屋の料金体系を見直して、利用料割引キャンペーンを実施し、対象となる会議室や六花亭が研修室や和室の代替部屋として利用されるなどの一定の効果が得られたため、平成31年4月から通常料金として改定しました。

近隣の園部公民館の改修工事が始まり、当会館の研修室や会議室を振替利用されたことにより、各部屋とも軒並み利用回数が増加しました。

## （3） 文化講座等の開催

文化庁の補助事業として採択された森の京都「なんたん」エコミュージアム推進事業について、園部藩立藩400年記念シンポジウムや公開講座の実施会場として、プログラム実施の協力を行いました。

#### (4) 国際交流事業

南丹市国際交流協会と共催して「なんたにあん Kids' カーニバル」や「社会人英会話教室」を開催しました。また各種団体が取り組む国際交流事業を取材・放送し、広報協力を行いました。

#### (5) 計画的な施設修繕

法定点検や設備保守等の定期点検を的確に実施し、安心して利用できる施設環境を提供しました。施設の維持管理については、イベントホールのスピーカーの入れ替え、和室（精華・霞平・招月）畳の入れ替え、研修室椅子の入れ替え、第1会議室の壁修繕を行い利用環境の改善に取り組みました。

一昨年6月の大阪北部地震による会館屋根瓦や壁のひび割れ等の破損状況を調査後、会館周辺のその他工事も含め、市担当課で検討されていますが、多額の費用を要するため、工事時期については未定となっています。

### 5. 地域貢献事業

平成29年度から引き続き、放送大学京都学習センター、一般社団法人南丹市美山観光まちづくり協会、一般社団法人森の京都地域振興社、京都丹波高原国定公園ビジターセンター運営協議会、当法人による地域貢献プロジェクト「森の京都カレッジ」を実施しました。平成28年3月に指定された「京都丹波高原国定公園」の自然や文化遺産を活用した観光事業には、関係分野の専門的知識を有するガイドの人材確保が不可欠です。その分野で活躍できる人材育成を行うため、五者連携による講座を開催し、延べ105名が参加しました。市民の「京都丹波高原国定公園」への理解促進のため、ケーブルテレビで講座の収録、放送を行いました。

また、平成31年度文化庁補助事業 森の京都「なんたん」エコミュージアム推進事業の協力団体として運営支援を行うとともに、文化遺産等の記録映像制作業務を受託し、地域振興に貢献しました。

地域の取り組みを記念番組として制作、また、団体から依頼のあったビデオ制作を行いました。

□大丹波地域サル対策広域協議会と連携した獣害対策ビデオ

□南丹市農山村振興課と連携した獣害対策ビデオ

□平成31年度文化庁 森の京都「なんたん」エコミュージアム推進事業の受託事業として、

① 観光拠点整備事業

「園部藩のあゆみ」、プロモーションビデオ「巡りたい風景がある 京都府南丹市」制作

② 地域文化財総合活用推進事業 森の京都「なんたん」カレッジ 地域学芸員養成講座の開催支援 及び 講義の収録・放送

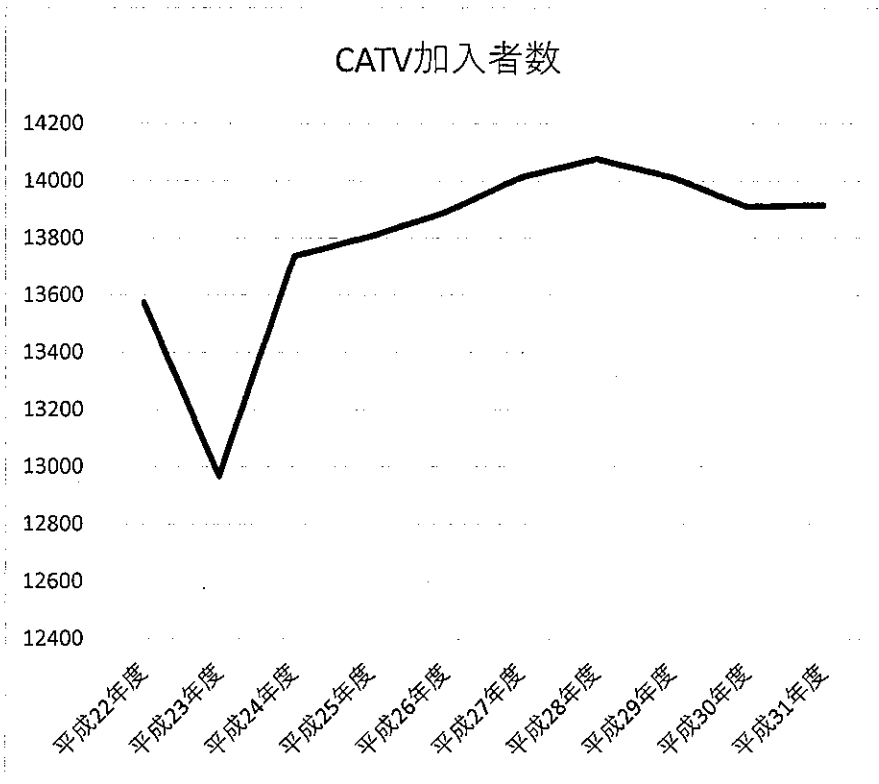
## 6. 法令遵守

個人情報保護規程を遵守し、管理運営並びに業務遂行上知り得た個人情報が外部に漏れることのないよう慎重な取扱いを行いました。

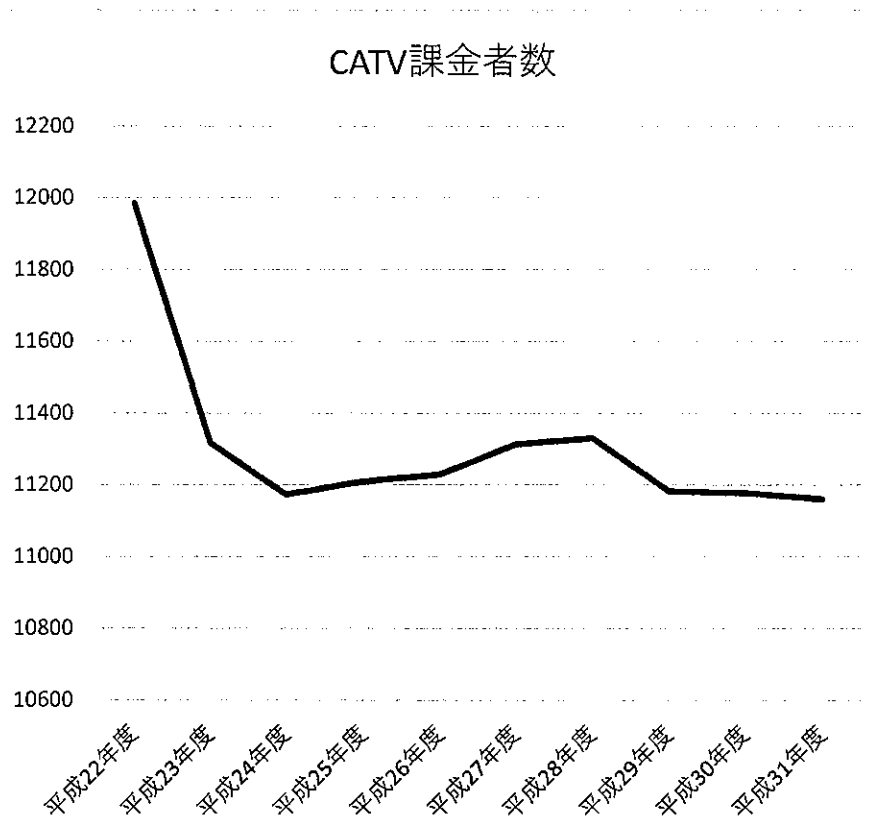
## 7. その他

5月の改元及び10月の消費税率改定では、利用者並びに事務処理に混乱が起こらないよう、計画的にシステム改修を行い、書類を変更し、広報を実施しました。

【CATV 加入者数の推移グラフ】

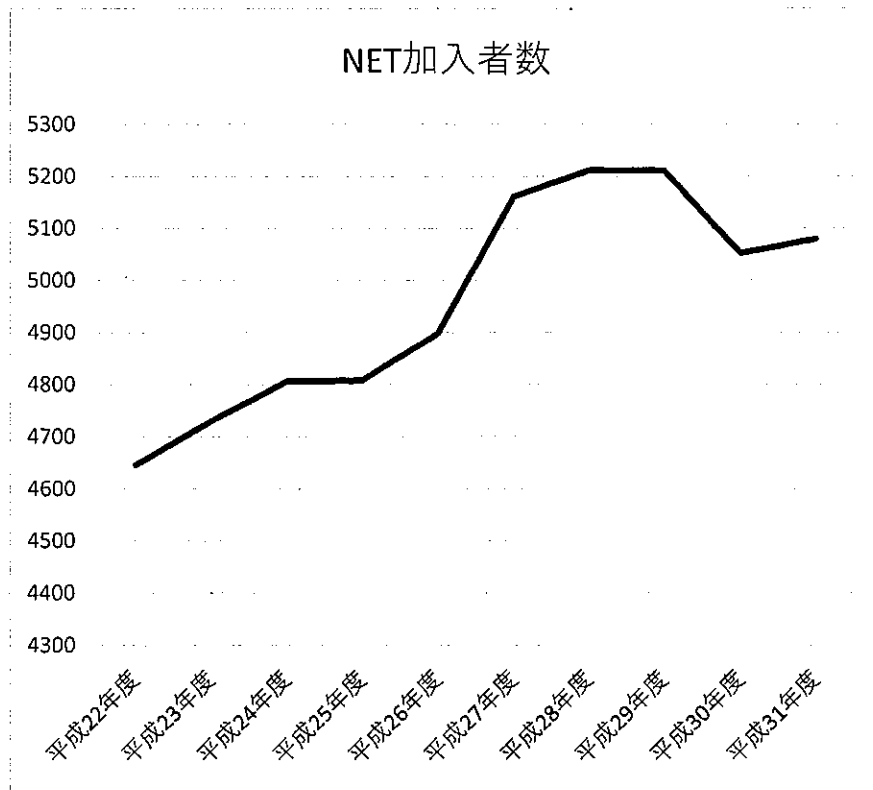


年度	CATV加入者数
平成22年度	13,574
平成23年度	12,969
平成24年度	13,737
平成25年度	13,806
平成26年度	13,891
平成27年度	14,013
平成28年度	14,077
平成29年度	14,012
平成30年度	13,910
平成31年度	13,916

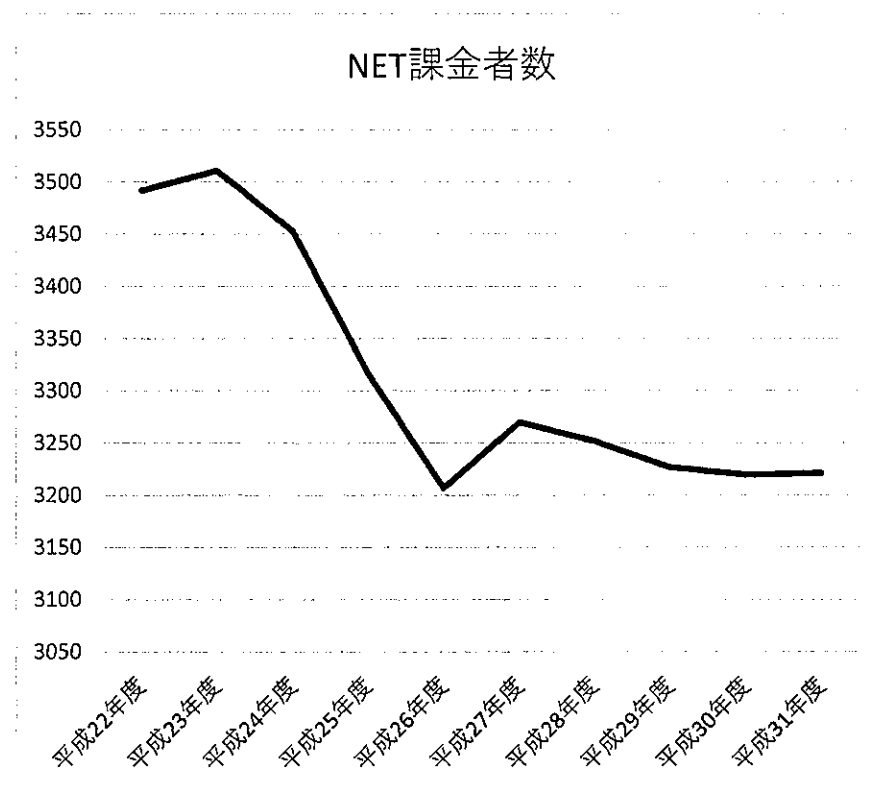


年度	CATV課金者数
平成22年度	11,985
平成23年度	11,317
平成24年度	11,173
平成25年度	11,210
平成26年度	11,230
平成27年度	11,314
平成28年度	11,331
平成29年度	11,183
平成30年度	11,178
平成31年度	11,161

【NET 加入者数の推移グラフ】



年度	NET加入者数
平成22年度	4,646
平成23年度	4,730
平成24年度	4,806
平成25年度	4,809
平成26年度	4,898
平成27年度	5,161
平成28年度	5,212
平成29年度	5,212
平成30年度	5,052
平成31年度	5,080



年度	NET課金者数
平成22年度	3,492
平成23年度	3,511
平成24年度	3,453
平成25年度	3,317
平成26年度	3,207
平成27年度	3,270
平成28年度	3,252
平成29年度	3,227
平成30年度	3,220
平成31年度	3,221

## 令和元年度の放送番組（別紙②）

(1) もぎたて☆ニュース（ウェンズデー・サタデー）（97本：コロナウイルス感染症に伴い、3回分の放送を見送り）

- 南丹市内や近隣地域のニュース（出来事622件）
- 特集（市民活動や生活に密着した話題や啓発／防災・交通安全・生活安全等啓発／文化活動・スポーツ活動の紹介／教育活動／大学連携／環境・産業／伝統文化・伝統食／まちづくり／生涯学習など市民の取り組み）（51件）
- 生活情報（市役所、農業委員会等からのお知らせ、出演による告知）（82件）
- じゅういちくん4歳児参観（10件）  
（保育所4歳児とじゅういちくんのふれあいコーナー・イラスト募集など）
- おたより（55件）
- 赤ちゃんお祝い情報
- 視聴者プレゼント（子どもの日・じゅういちくんの誕生日月間）

## (2) 企画番組

放送大学京都学習センターと連携して講演会を開催し、番組として収録し放送した。また、地域の取り組みを取材した記念番組や団体から依頼を受けて番組を制作、放送した。

- 放送大学京都学習センター公開講座「森の京都カレッジ」前期・後期
  - ① 江戸末期の美山の交通と交易
  - ② 芦生の森と暮らしについて
  - ③ 京都丹波高原国定公園の食文化
  - ④ 京都丹波高原国定公園の食文化「川漁とアユ」
  - ⑤ 京都丹波高原国定公園の文化遺産「松明行事と愛宕信仰」
  - ⑥ 京都丹波高原国定公園の歴史・文化「大堰川水運と平安京」
  - ⑦ 京都丹波高原国定公園の歴史と文化「大堰川水運と京都の町家」
- 森の京都「なんたん」エコミュージアム推進事業
  - ① 園部藩立藩400年記念シンポジウム「園部藩と丹波の諸藩」
  - ② 蘇れ。生身天満宮祭礼絵巻
- 森の京都「なんたん」カレッジ公開講座
  - ① 園部歴代藩主の肖像画を巡る
  - ② 園部藩の誕生 小出吉親の入部と園部陣屋の築造
  - ③ 幕末維新期の園部藩
- 令和の大嘗祭 八木町氷所主基斎田選定を祝って

## (3) 生中継

生中継については、南丹市議会定例会本会議や中学校の南船野球大会、園部小学校鼓笛パレードのほか、法人主催のサッカー大会など、臨場感ある放送を行った。

- 中学校の南船野球大会
- 南丹市議会定例会本会議（6・9・12・3月）
- 第6回じゅういちくんカップ少年サッカー大会 \*法人主催
- 園部小学校鼓笛パレード
- 南丹市成人式

（4）まちかどぶらっトーク！

地域の人達、暮らし、宝、地域情報等をレポーターが現地を訪ね紹介。

（園部町小桜編）

（5）特集番組

- 園部高校・附属中学校合唱部定期演奏会（2019年3月収録）
- 園部高校・附属中学校吹奏楽部定期演奏会（2019年3月収録）
- 園部中学校吹奏楽部定期演奏会（2019年3月収録）
- コミュニティ・スクール推進研修会と講演会
- 京都・南丹園部お城祭り
- 2019合唱交歓会インやぎ
- なんたん音楽フェスティバル①②③
- 市長と語ろう、私たちのまちづくり
- 園部吹奏楽団ソロ・アンサンブルコンサート
- 戦争のおはなし ～私が国民学校で教わったこと～
- あぜみち10周年記念コンサート
- 嵯峨野線開通120周年記念 在りし日の嵯峨野線
- 西村市長、今西議長新年のあいさつ
- 各町文化祭（日吉町文化祭①②③八木町文化祭①②③美山町文化祭①②③園部町文化祭①～⑫）
- ニュース総集編2019（年末）
- なんたん音楽フェスティバル①～③
- 劇団mWの公演「紅蓮の朱雀」
- 園部ライオンズクラブ青少年育成事業スプリングコンサート
- 南丹市表彰式
- 思い出のアルバム

小・中学校の卒業生へ入学式の様子を放送。新成人を迎える人たちへ、中学校時代の入学式の様子を放送。恩師からのメッセージを収録・放送。

（6）スクールフェイス（148本）

- 入学式、卒業式、運動会のほか修学旅行や学習発表会、文化祭など保・幼・小・中学校から投稿ビデオを編集、放送。（中学校入学・卒業・体育祭は情報センター撮影）



(7) アーカイブ放送

- 園部町口司の虫送り（2017年制作）
- 美山町田歌の神楽（2011年制作）

(8) 図書館だより（南丹市立図書館・図書室広報番組） 毎月1回

- 一般書・児童書の新刊案内、行事のご案内

(9) ふくしの森（社会福祉協議会、地域活動支援センター、福祉施設等の広報番組）

毎月1回

- 各事業所の活動報告。南丹市障害者就労支援ネットワーク会議からのお知らせ。

(10) とれたて新鮮！森の京都丹波っ！（京都府南丹広域振興局制作 広報番組） 隔月

1回計5本

- 南丹市を始め、亀岡市、京丹波町の魅力を紹介 2本制作
- 佛教大学との連携により、学生の企画による番組 2本制作
- 観光プロモーションビデオ 15本制作

(11) 京都ライブ！（京都府広報番組） 12回放送

- KBS京都で毎月生放送している京都府広報番組を再放送。

(12) JAトピックス（JA京都制作 農業関連情報番組） 毎週1回更新

- 園部・八木・日吉・美山支店から営農情報や活動報告などを放送。

(13) かんたん！体にいいレシピ／おいしくたのしくごちそうさま（南丹市企画 食育番組）

- 南丹市食生活改善推進員協議会によるレシピ紹介や子どもたちへの食育の取り組みを紹介。

(14) なんとんテレビ学舎（教育委員会企画 家庭学習支援番組）

- 高校受験対策として、中学3年生対象の国語・数学・英語の3教科を放送。

(15) 「ピンピン！健幸のツボ」（南丹市保健医療課と明治国際医療大学との協働企画）

- 心も体も健康でイキイキと生活できるよう、明治国際医療大学と南丹市が協働で企画し、明治国際医療大学の講師陣による健康情報番組を制作。

(16) 文字広告

- 令和元号記念広告
- テレビ年賀

### 【文字放送・TV週報】

公共機関・学校・各種団体等からのお知らせを放送。京都府南丹広域振興局、警察署、消防署など広域の依頼にも対応した。依頼数が年々増加している。

文字放送：883件（行事：350件 募集：179件 お知らせ：354件）

TV週報・各団体からのお知らせ：82件

また、「ビニールごみ分別」について、市民へのリサイクル意識を高めてもらおうと、注意点をまとめたお知らせ番組（特集）を制作し、広報した。

### 【防災情報カメラ】

南丹市が各町に設置してホームページで公開している河川監視カメラの映像を、時間枠を決めて毎日放送するとともに、有事の際には番組を変更して放送した。（防災チャンネル）

### 【緊急情報・防災情報】

災害時における職員の対応について、9月の南丹市防災訓練に併せて、事業課職員の伝達訓練や設備点検訓練、放送訓練を行った。

災害発生時には、南丹市対策本部会議に出席し情報収集に努め、放送した。

#### □台風10号対策（令和元年8月15日～16日）

- ・南丹市災害警戒本部会議へ出席し、水位状況や被害状況を把握し、避難所開設、交通情報を伝えた。

#### □台風19号対策（令和元年10月12日）

- ・南丹市災害対策本部会議へ出席し、水位状況や被害状況を把握し、避難所開設、避難勧告、指示、交通情報、危険箇所情報、イベント中止の案内、節水・ごみ処理についてのお願など、多くの情報を、L字やLアラート（災害情報共有システム）、河川カメラ放送、文字放送、などで伝えた。

#### □新型コロナウイルス対策

- ・文字放送
  - ↳ 南丹保健所からの内容を掲載
  - ↳ 市内行事の中止内容を掲載
- ・動画放送
  - ↳ 南丹市保健医療課より内閣府制作の「手の洗い方」を放送。
  - ↳ もぎたてニュースのコメントで手洗い、うがい、咳エチケットなどを告知

### 【CM放送】

ニュース番組内で4企業のCMを放送した。

□株式会社高屋組、井尻ハウジング、ZAQ、赤い羽根共同募金

#### 【マスコットキャラクター】

南丹市情報センターのマスコットキャラクター「じゅういちくん」が、定期的に幼稚園や保育所を訪問し、子どもとのふれあい企画を放送した。

#### 【教育機関との連携】

小学校、中学校、高校、大学、幼稚園、保育所等との連携を深めて情報収集を行い、各校の特色ある取り組みを多数紹介した。学校からの提供による番組枠を充実させ、より見やすくなるように編成した。

児童、生徒の情報教育に関する施設見学や勤労体験学習等の受け入れを行った。

- 施設見学 園部小学校2年生、八木西小学校2年生、殿田小学校5年生
- 勤労体験 園部中学校2年1名、八木中学校2年1名、園部高校附属中学校2年1名
- ゲストティーチャー依頼 園部第二小学校5年生、八木西小学校2年生
- 佛教大学、京都先端科学大学インターンシップ研修生 受け入れ 各1名

#### 【その他】

##### □ビデオ制作協力

- ① 大丹波地域サル対策広域協議会と連携して獣害対策の制作ビデオを作成した。
- ② 南丹市農山村振興課と連携して獣害対策の制作ビデオを作成した。
- ③ 平成31年度文化庁 文化資源活用事業（観光拠点整備事業）

森の京都「なんたん」エコミュージアム推進事業の受託事業として、「園部藩のあゆみ」、プロモーションビデオ「巡り合いたい風景がある 京都府南丹市」の制作ビデオを作成した。